

ビエンベニード ア 総務省



総合通信基盤局電気通信事業部
高度通信網振興課高度通信網推進官

松田 和男

Matsuta Kazuo

昭和62年 4月 郵政省採用
大臣官房人事部要員訓練課
昭和62年 8月 電気通信局電気通信事業部監理課
平成 元年 5月 電気通信局電気通信事業部事業政策課
平成 3年 6月 大臣官房人事部能力開発課
平成 4年 4月 人事院事務官併任(行政官国内研究員 東京大学大学院)
平成 6年 7月 経済企画庁経済研究所国民所得部国民生産課専門調査員
平成 9年 7月 大臣官房企画課企画調査室主査
平成10年 6月 大臣官房企画課国際部国際政策課企画室主査
平成11年 5月 外務省在ペルー日本国大使館二等書記官
平成14年 8月 総務省大臣官房政策評価広報課広報室報道係長
平成16年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課課長補佐
平成17年 8月 福岡県総務企画局情報課推進室情報企画課長
平成19年 7月 郵政行政局貯金企画課課長補佐
平成19年10月 郵政行政局貯金保険課課長補佐
平成21年 7月 情報流通行政局郵政行政部貯金保険課課長補佐
平成22年 7月 情報流通行政局郵政行政部企画課課長補佐
平成23年 7月 現職

夢想癖

高度通信網推進官というのが現在の私の役職名です。一体何をやる役職なのかというと、FTTH(ファイバ・トゥ・ザ・ホーム)と呼ばれる超高速通信サービスを全国にあまねく整備していくというのが主な任務です。超高速通信サービスを整備すると何が出来るようになるかというと、例えば、医師がいないような離島の患者を、テレビ電話を通じて診察したり、山奥に住みながら東京の本社のデータにアクセスして仕事をしたりと、本来なら移動を伴うようなことを移動せずに出来るようになります。まさに過疎地域にとっては、起死回生のツールなのですが、実際にサービス基盤を整備して、利用してもらおうとなると…。将来はこうなるといいなと思うような夢の世界を、一年でも二年でも前倒しすべく日々努力しています。

ライオンの子育て

入省したての頃ですが、電話を用いた今の出会い系サイトのようなサービス(ツーショットダイヤル)が社会問題化したことがあって、当時係員でしかなかった自分に、現状分析から対応方針の策定まですべて任せてもらえ、一定の成果を出せたことがその後の大きな自信につながったと思います。

七変化

ある時はエコノミスト、ある時は外交官、またある時は市役所の職員、果たしてその実体は、単なる総務省の職員。総務省内だけでも通信以外にも、金融や統計など多様な業務がありますが、それ以外にも他省庁や自治体への出向機会もあり、いろいろな経験が出来るのが総務省の魅力では(もちろん〇〇オタクになることも可)。